

水道事業ビジョンにおける施策一覧と各年度の実績表（H30年度～R5年度）

資料 3

表 2-2-1 施策 1（安全）における取り組み状況

＜本庄市水道事業ビジョンP38、P39＞

2023年度（令和 5 年度）目標値を達成

取組事業	取組内容	指標項目	H28実績 2016	H30実績 2018	R元実績 2019	R2実績 2020	R3実績 2021	R4実績 2022	R5実績 2023	目標値 2023 2029	
1-1 水質検査の適切な実施	・ 水質検査計画の継続的な実施 ・ 水質自動計測装置の拡充	水質自動計測装置の設置数（箇所）	3	3	3	3	3	3	4	4	5
		平均残留塩素濃度（mg／l） 残留塩素濃度合計※／残留塩素測定回数	0.48	0.45	0.42	0.39	0.38	0.39	0.37	0.40以下を目指す	
		水質基準不適合率（％） （水質基準不適合率／全検査回数）×100	0	0	0	0	0	0	0	0%を維持	
1-2 水安全計画の策定と運用	・ 計画策定と計画運用			策定済	運用中						
1-3 貯水槽水道の衛生管理向上に向けた啓発活動の実施	・ 設置者に対して年3回程度の啓発活動を継続的に実施する。										

※残留塩素濃度測定は、365日市内7箇所で測定しています。（本庄地域3箇所、児玉地域4箇所）

表 2-2-2 施策 2（強靱）における取り組み状況

＜本庄市水道事業ビジョンP40、P41＞

取組事業	取組内容	指標項目	H28実績 2016	H30実績 2018	R元実績 2019	R2実績 2020	R3実績 2021	R4実績 2022	R5実績 2023	目標値 2023 2029	
2-1 浄配水施設の計画的耐震化と更新	計画目標年度までに、下記の施設の耐震化工事に着手 ・ 第二浄水場耐震化工事 ・ 児玉浄水場耐震化工事	浄水施設の耐震化率（％） （耐震対策の施された浄水施設能力／全浄水施設能力）×100	0	0	0	0	0	0	0	4.1	27.4
		配水池の耐震化率（％） （耐震対策の施された配水池有効容量／配水池等有効容量）×100	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	32.4	46.8
2-2 管路の計画的耐震化と更新	計画目標年度までに更新延長を下記水準に改善 ・ 基幹管路（φ400mm以上）：0.4km／年 ・ 基幹管路（φ350mm以下）、重要管路：1.3km／年 ・ 配水支管φ150mm～φ350mm：0.7km／年 ・ 配水支管φ100mm以下：2.1km／年	基幹管路の耐震適合率（％） （基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長／基幹管路延長）×100	34.7	37.2	37.2	37.2	37.2	37.4	37.5	46.5	60.0
		管路の事故割合（件／100km）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		管路の事故件数／（管路延長／100）									

表 2-2-3 施策 3（強靱）における取り組み状況

＜本庄市水道事業ビジョンP42、P43＞

取組事業	取組内容	指標項目	H28実績 2016	H30実績 2018	R元実績 2019	R2実績 2020	R3実績 2021	R4実績 2022	R5実績 2023	目標値 2023 2029	
3-1 危機管理マニュアルの改訂	・ マニュアルの改訂と運用								策定済		
3-2 応急対策の拡充	・ 整備、拡充の取組みを実施 ・ 民間企業との協力協定の締結	飲料水袋備蓄達成率（％） （備蓄数／飲料水袋目標備蓄数）×100	16.7	12.5	21.7	41.7	63.1	79.4	121.4	58.3	100
3-3 他事業体との相互応援体制の強化	・ 相互応援体制強化への取組みを実施 ・ 災害時連絡管に係る検討										

※飲料水袋目標備蓄数は6,000袋

※令和 6 年 3 月末時点の飲料水袋備蓄数は7,286袋

評価・状況

・ 令和 5 年度に 1 箇所設置し、今後も増設を進めます。

・ 令和 2 年度から目標値達成を継続しています。

・ 目標値を継続しています。

・ H30年3月に策定し現在まで運用しています。

・ 更なる啓発活動について検討していきます。

評価・状況

・ 第二浄水場の耐震化工事の詳細設計を実施しましたが、工事着手が遅れており見直しが必要です。

・ 耐震化が遅れており、見直しが必要です。

・ 他事業（下水道）関連に合わせた整備に伴い老朽管更新工事の進捗率が低い状況となっています。

・ 目標値を維持しています。

評価・状況

・ 厚生労働省が推進する危機管理マニュアルは策定済です。

・ 飲料水袋の計画備蓄数は達成済です。

・ 応急給水活動マニュアルの策定や資機材の調達を進めます。

・ 児玉郡市水道事業事務研究会において災害時連絡管や将来的な共同化、広域連携についての勉強会の開催を予定しています。

表 2－2－4 施策 4（持続）における取り組み状況 <本庄市水道事業ビジョンP44、P45>

取組事業	取組内容	指標項目	H28実績 2016	H30実績 2018	R元実績 2019	R2実績 2020	R3実績 2021	R4実績 2022	R5実績 2023	目標値	
										2023	2029
4－1 井戸の定期調査と長寿命化の実施	・ 調査、試験及び工事の実施	井戸の定期調査・長寿命化工事の実施数（箇所）	1	1	1	1	1	1	1	2	3
4－2 機械・電気設備の保全	・ 計画的な保守、更新等の実施										
4－3 漏水率の改善	・ 漏水調査、補修の継続	漏水率（％） （年間漏水量／年間配水量）× 100	8.9	9.7	10.2	10.8	11.5	10.9	11.7	7.9	6.9

評価・状況

・施設の統廃合の検討や井戸数の見直しが課題となります。

・様々な方式を導入して漏水調査の効率化を図っておりますが、水道管の老朽化が進行しており年々漏水率が上昇していることから事業内容の見直しが必要です。

表 2－2－5 施策 5（持続）における取り組み状況 <本庄市水道事業ビジョンP46、P47>

取組事業	取組内容	指標項目	H28実績 2016	H30実績 2018	R元実績 2019	R2実績 2020	R3実績 2021	R4実績 2022	R5実績 2023	目標値	
										2023	2029
5－1 健全な経営の維持	・ 業務効率化の推進、業務委託の検証 ・ 広域化の推進 ・ 財政収支見通しの策定と適切な料金水準の検討	経常収支比率（％） 〔（営業収益＋営業外収益）／（営業費用＋営業外費用）〕× 100	119.09	115.09	111.45	114.62	107.19	106.22	—	100%超を維持	
		料金回収率（％） （供給単価／給水原価）× 100	114.40	106.48	103.47	107.32	98.71	82.31	—	100%超を維持	
		有収率（％） （年間有収水量／年間配水量）× 100	90.98	90.27	89.63	89.12	88.47	88.94	88.13	92.0	93.0
5－2 人材の確保と育成	・ 職員研修の強化 ・ 職員間情報共有方策の検討	水道技術に関する資格取得度（件／人） （職員が取得している水道技術に関する資格数／全職員数）	0.88	1.12	0.75	0.82	1.47	1.47	1.81	0.88	0.88
		研修時間（時間／人） （職員が研修を受けた時間×受講人数）／全職員数	7.4	16.20	16.5	7.4	6.7	11.2	6.1	8.0	8.5

評価・状況

・経常収支比率は目標値を上回っているものの有収率低下に伴い経常収支比率や料金回収率が低下しているため有収率の改善対策に向け事業内容を見直しが必要です。

・資格取得率は目標値を達成。

・研修時間は目標値を下回っているため見直しが必要です。

表 2－2－6 施策 6（持続）における取り組み状況 <本庄市水道事業ビジョンP48>

取組事業	取組内容	指標項目	H28実績 2016	H30実績 2018	R元実績 2019	R2実績 2020	R3実績 2021	R4実績 2022	R5実績 2023	目標値	
										2023	2029
6－1 情報提供の拡充	・ 情報提供方法の検討 ・ 情報内容の充実	広報による情報の提供度（回／年）	2	3	6	6	5	10	8	4	4
6－2 利用者の利便性の向上	・ 収納方法の多様化の検討	電子申請利用件数（件／年）	190	317	345	412	681	661	753	210	230

評価・状況

・広報やホームページ等を活用し引き続き計画どおり進めます。

・引き続き利用者の利便性の向上を目指します。